



April | 2023
Market Structure

アジア株式オプション市場に息を吹き込む方法

本コラムではこれから数回にわたって、アジアの主要地域における株式オプション市場について考察します。まずは各市場の現状を検証し、続いてその成長を促す方法を提唱します。

本コラムではこれから数回にわたって、アジアの主要地域における株式オプション市場について考察します。まずは各市場の現状を検証し、続いてその成長を促す方法を提唱します。

上場株式オプションは欧米では非常に人気の高い投資商品ですが、不思議なことにアジアの特に成熟した市場での関心は長い間低迷が続いています。

その要因として、株式市場が活況かどうかは関係なさそうです。韓国、中国、日本、台湾のどの地域においても、株取引は活発で日々の売買高は数千億円規模に上ります。指数オプション市場の流動性は高く、国内（域内）投資家がデリバティブ商品を忌避している様子もありません。株式オプションが取引されている店頭市場も多く、株式ワラントやCFDなどのオルタナティブ商品も一部では人気を集めています。

アジア株式オプション市場：大きな成長余地

一日平均出来高* (10億米ドル)	香港株式	香港株式 オプション	日本株式	日本株式 オプション	韓国株式	韓国株式 オプション
2021	16.9	3.18	26.9	0.003	23.4	0.08
2022	11.7	2.45	24.1	0.002	12.3	0.09

出所:国際取引所連合、ブルームバーグ
*米ドル換算後の1日平均取引額(HKEX, JPX, KRXを対象)。株式オプション:株価×権利行使価格×数量。株式:年間平均株価。為替レート=年末対米ドル相場。
ディスクレイマー:Optiver VOFないし「オプティバー」は、オランダの金融当局より自己勘定取引の許可を受けたマーケットメーカーです。本コラム及びその内容のすべては、投資助言、投資調査、財務分析を構成するものではなく、また、自己勘定取引以外の何らかの活動を構成するものでもありません。オプティバーとの間で行われるすべての取引は、オプティバーの取引条件に従うものとします。

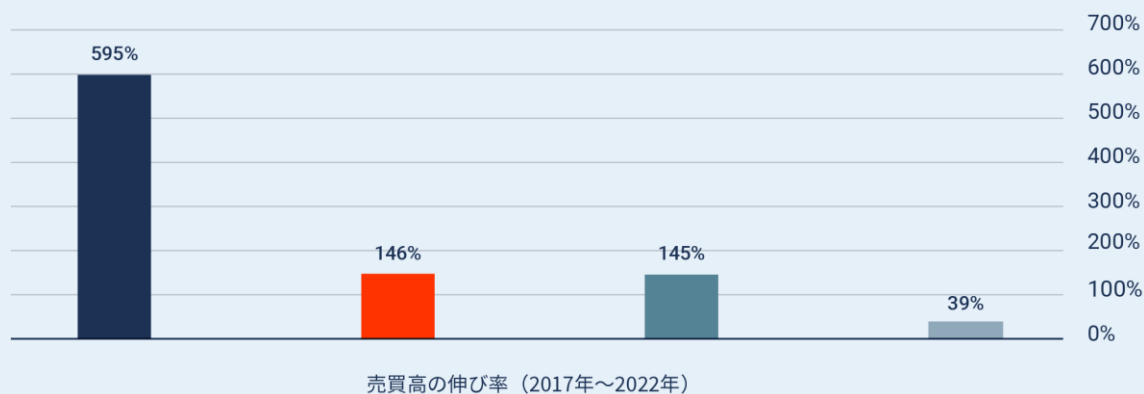
これらの国と地域において上場株式オプションへの投資拡大の妨げとなっていると考えられる要因はいくつかありますが、どれも克服可能です。ただし、市場構造など各地域共通の問題はあっても、すべてに効く万能薬があるわけではありません。例えば、韓国ではコーポレートアクション規制の強化が有効でしょうし、日本では国内投資家向けの税制改革が株式オプションへの投資を促すでしょう。

健全な資本市場において、株式オプションは重要な役割を果たします。投資家にとっては原株式のヘッジ手段となるうえに、カバードコール戦略などによる収益も期待できます。

取引所にとっても、既存の商品ラインアップを補完する新商品の導入はプラス効果があるでしょう。株式オプション市場が活発であれば、デリバティブや関連現物株の流動性も拡大し、市場全体のレジリエンス向上の効果も見込めます

世界の株式オプション市場：飛躍的な成長ぶり

● インド ● ブラジル ● 米国 ● 香港



出所：国際取引所連合、ブルームバーグ
 ディスクレイマー：Optiver VOFないし「オプティバー」は、オランダの金融当局より自己勘定取引の許可を受けたマーケットメーカーです。本コラム及びその内容のすべては、投資助言、投資調査、財務分析を構成するものではなく、また、自己勘定取引以外の何らかの活動を構成するものでもありません。オプティバーとの間で行われるすべての取引は、オプティバーの取引条件に従うものとします。

このように、株式オプション市場の活性化は多大なメリットをもたらします。そこで、これから数回にわたって、韓国、中国、日本及び台湾の株式オプション市場を取り巻く現状を検証し、続いてその活性化に向けたアイデアを提唱します。

当グループはこれまで、世界の様々な国や地域で新しいオプション商品の開発に関わってきました。経験に裏打ちされた現場からの視点で考え、問題提起することで、市場の成長に寄与してきたと自負しています。今回は、株式オプションの多様な取引方法とその利点に焦点を当てます。

ニュースレター「Insights」の購読を希望する場合は下のボタンをクリックしてください。

計算式

株式オプションの一日平均出来高：株価×権利行使価格×数量

株価：年間平均株価

為替レート：年末米ドル相場

オプティバーについて

オプティバーは1986年設立のグローバル・マーケットメーカーです。アムステルダム、ロンドン、シカゴ、オースティン、シドニー、上海、香港、シンガポール、台北に計約2,000人の人員を擁し、競争力のあるプライシングやエグゼキューション、徹底したリスク管理による市場の改善を命題にしています。流動性供給のリーダー・カンパニーとして、世界各地の取引所において上場デリバティブ、現物株式、ETF、債券、外貨など幅広い金融商品について流動性を提供することで、健全で効率的な市場の保護に寄与しています。オプティバーによる流動性提供はすべて、自己資金により、自己責任において行われています。